

# 庄原市キャッシュレス 推進プロジェクト



『いざなみカード(愛称なみか)の庄原市全域導入によるキャッシュレス化の推進と地域内循環型経済の構築』



\*庄原商工会議所

一般社団法人  
庄原市観光推進機構 (庄原DMO)



備北商工会



東城町商工会

# 事業目的

## 人口減少と地域経済縮小化の克服

広島県庄原市は、中国山地のほぼ中央に位置する中山間地域の都市です。令和3年7月末現在の人口は、33,632人となっており、平成17年3月31日の合併時(44,151人)から人口減少が続いています。今後も人口減少に歯止めがかからないまま推移していくと、2015年国勢調査に基づく本市の2040年の人口推計は、23,740人にまで減少することが予測されています。さらに65歳以上の人口比率は、平成17年の合併時は35.6%であったが、令和3年7月末現在で43.8%となり約2.3人に1人が65歳以上となっています。

今後、本市の人口がデータ通り推移することとなれば、地域経済への影響は大きく、地域住民に対するサービスを維持していくのは困難であると考えられます。

このような現況を打破するためには、地域経済を域内で循環させる仕組みを構築し、内需の拡大を図ることで、住みよい地域づくりをめざしていくことが必要です。「商業振興」「健康」「安心安全」「観光振興」の4つを柱とした事業を実施することで、庄原がいちばんと思えるまちづくりを目指し、人口減少・地域経済縮小を克服し、持続的に地域を存続させることができる1つのモデルケースとなることを本事業の目的とします。

### 4つの柱



#### 商業振興

- ・地域内循環による内需の確保
- ・プレミアムの発行で消費を喚起

#### 健康増進

- ・健康ポイント、ボランティアポイントの発行による促進

#### 安心安全

- ・児童見守り
- ・高齢者見守り

#### 観光振興

- ・観光客誘致
- ・カードの発行
- ・カードと連動したアプリの構築
- ・ふるさと納税

# 庄原市循環型キャッシュレスサービスの展開

## キャッシュレス決済の推進

- ・全市民へのカード配布
- ・市内全事業者への案内
- ・加盟店のインフラ整備
- ・キャッシュレス決済の推進
- ・市税等の支払いも検討 など

→市内経済三団体と庄原DMOが庄原市役所と連携してキャッシュレス決済推進協議会を立ち上げます。  
地域が一丸となって取り組みます。

## 新型コロナウイルスによる消費活動の変化

- ・非接触型購買行動の促進(キャッシュレス決済の浸透)
- ・外出自粛による地域経済での購買行動の活性化
- ・インターネットを利用した消費行動の活性化
- ・ローカルへの観光活動の促進



# 地域で循環するチャージの視点

今まで

クレジット決済・OOPAYなど全国共通キャッシュレス

- ・消費者は、利用場所が多いことと還元サービスにメリットを感じる
- ・加盟店は、売上の一部を手数料として決済事業者へ支払い  
決済事業者へ支払う手数料は、庄原市外へ流出



これから

庄原全域キャッシュレスカードへチャージする

→【消費者利点】1万円チャージごとに100円のプレミアム(1%還元)

- チャージの利点
- 現金(通貨)から地域マネーに!(囲い込み)
  - チャージすることは地域消費につながる。他所で使わない。
  - チャージ行為そのものが、購入(消費)と同じ。
  - チャージに対しての販促を行う。(今チャージしてもらう)

決済手数料の一部は庄原市内の消費喚起に再投資します→経済の好循環

# カード・アプリ仕様

会員カードと会員カードと同じ情報を持ったアプリを準備しております。

## 【カード仕様】

- ・PET製カード
- ・QRコード、JANコード対応
- ・印刷：表4色裏1色
- ・カード厚み0.188mm（裏面にQRコード、JANを印刷）

アプリでは、加盟店情報に加えて  
庄原市の市民向け情報  
庄原市の観光情報なども  
幅広く配信。



**\*カードとアプリに表示されるQRコードとJANコードは同一となります。**  
JANコードは25から始まる13桁となります。